

平成31年度重点事項

日赤岩手乳児院

1 入所児及び家庭のケアの充実

少子化や核家族化、離婚、児童虐待の増加傾向など家庭や地域における養育機能が脆弱化している中、できる限り家庭的な環境の中での養育を実施するために小規模グループケアを継続することで一人ひとりの子どもを丁寧かつきめ細かく育む個別化を重視した養育に取り組む。

スタッフに医師、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、心理療法担当職員、看護師、保育士、栄養士などの専門職員を配置し、乳幼児の基本的な養育機能に加え、被虐待児・病虚弱児への対応、家庭支援体制の強化、早期家庭復帰や里親委託の支援、退所後のアフターケアなど専門的機能を発揮する。

2 運営基盤の強化

養育に不可欠な人材を確保し、新人・中堅・上級の各層職員に応じた研修を充実化するとともに、後進職員を支え導くための相談や助言等を行うスーパービジョン体制（指導体制）を強化し、人材の能力向上、育成、定着化に取り組む。

3 地域貢献の推進

市町村からの委託による子育て短期支援事業の実施や、育児電話相談、もぐもぐ食育体験教室、中高校生の体験学習や里親研修の受け入れ、地域の人々やボランティアを対象とした赤十字講習の開催など、地域における公益的活動を推進する。

4 ボランティアと職員による施設運営

日本赤十字社の運営は多くのボランティアの活動により支えられており、当院も多くの方々の受入を行っている。既存のボランティア活動のさらなる活性化や新たなボランティアを確保するため、ホームページ、院内だより、手作りポスターによる積極的な広報活動に努める。

(日本赤十字社岩手県支部 平成31年度事業計画 抜粋)